

新型コロナウイルスの県内農畜水産業への影響

令和 2 年 12 月末調査

- 外出自粛による家庭での消費拡大により、野菜や魚などの県内農畜水産物の販売に大きな影響は無かった。
- 一方で、洋蘭等の花はイベントの中止により需要が減少し、マグロ等の高級魚や牛肉も飲食店の営業自粛により販売できない厳しい状況となったが、秋以降、回復しつつある。
- しかしながら、流行の第 3 波により、飲食店への時短営業の要請などが行われており、今後の影響に注視する必要がある。

区 分	影 響 等	市場価格の 対前年比
1 農業関係 (1) 花き	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 月以降のイベントの中止等により、5 月ごろまで花き全体で需要が減少したが、6 月以降、花き全体の需要は回復しつつある。 ・ コチョウラン等の鉢物の市場価格が最も影響を受け、6 月まで価格低迷が続いたが、現在は出荷量の減少（10 月対前年 $\Delta 18.4\%$）に伴い、価格は堅調に推移している。 	コチョウラン [4 月] $\Delta 47.1\%$ [10 月] +13.8%
(2) 野菜	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭での消費拡大により、市場出荷、直売所での販売は好調であった。 ・ 3～5 月に、イチゴの観光農園の多くは営業を自粛し、市場出荷や直売に切り替えたが、売上は減少した。 ・ 11 月中旬以降のダイコンの安値は、天候が順調で荷余りが生じたことによる影響が大きいものと思われる。 	キャベツ [4 月] +42.0% ダイコン [12 月上旬] $\Delta 34.3\%$
2 畜産関係 (1) 牛肉	<ul style="list-style-type: none"> ・ インバウンド需要や外食需要の減少等により、3 月以降、等級の高い牛肉を中心に価格が低迷していたが、5 月以降持ち直してきており、10 月には昨年と同水準まで回復している。 	牛肉（A-5） [4 月] $\Delta 25.8\%$ [11 月] $\Delta 0.9\%$

区 分	影 響 等	市場価格の 対前年比
(2) 牛乳	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食向け牛乳は市販に振り向けられ、生産者には影響がなかった。 	
(3) 豚肉	<ul style="list-style-type: none"> 豚肉は家庭での消費拡大等により堅調であった。 	豚肉（上） [4月] +13.6% [11月] +16.5%
(4) 鶏卵	<ul style="list-style-type: none"> 鶏卵は、夏以降、業務・加工用需要の落ち込みにより価格が低水準で推移しているが、鶏卵生産者経営安定対策事業による補てんがあり、生産者に大きな影響は生じていない。 	鶏卵（M） [4月] +16.1% [11月] △21.9%
3 水産関係 (1) マグロ・高級魚	<ul style="list-style-type: none"> マグロの取扱量が減少し、卸売業者で在庫が滞留して価格も低迷したが、10月以降は取扱量・価格ともに回復しつつある。 ヒラメ、マダイ、スズキなど高級魚の市場価格が低迷していたが、回復してきている。 	冷凍メバチマグロ [4月] △23% [10月] △12.5% ヒラメ [4月] △53% [10月] +3.8%
(2) 家庭向け水産物	<ul style="list-style-type: none"> サバなどの家庭向けの魚は他都県市場への仕向けにより、大きな影響はなかった。 	